

## 船舶衝突の実務的解説

田川俊一 監修、藤沢 順 著

宮野 義広 (東船大 N10)

東京商船大学 N8 回生田川俊一弁護士が監修し、  
N9 回生藤沢順マリンコンサルタントが著した。

本書「船舶衝突の実務的解説」の特長

- ・船舶衝突事件の対応で必要となる法律・実務知識を、83 の設問でわかりやすく簡潔に解説している
- ・初期対応から民事訴訟の実務まで網羅している
- ・A5 版 94 頁のなかにコンパクトに収めている (資料込み 176 頁)
- ・設問に関係ある有名な事例、判例、条約が紹介され、読者がもっとくわしく知りたいと思うように配置している

わたしが田川さんと同じ損保会社に入社したころ、田川さんは労働組会の委員長をされていて、国鉄 (現 JR) のストライキの支援に徹夜で行かれていた。突然、「司法試験に受かったので会社を辞めて司法修習に入る」と言われた。いつ勉強されていたか、隣の机のわたしにもわからなかった。

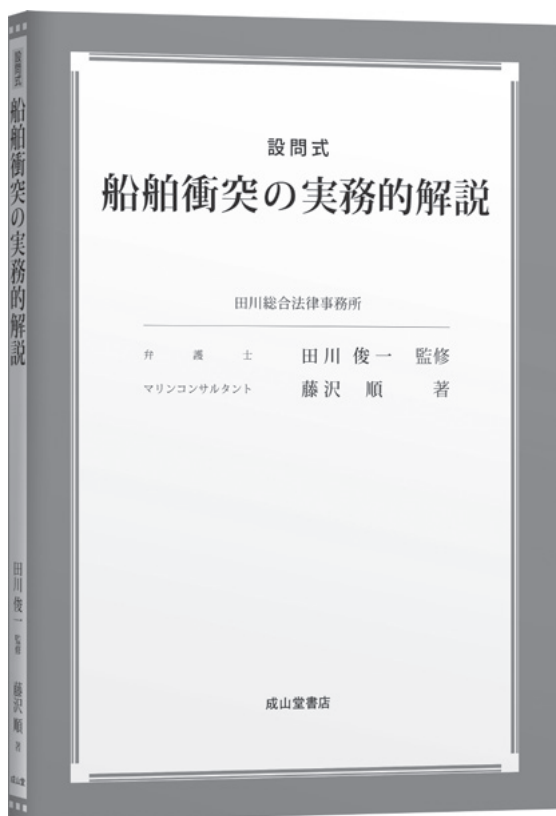
田川弁護士の主な取扱い事件はつぎのとおり。

- ・第拾雄洋丸・パシフィックアレス衝突事件 (1974 年東京湾)
  - ・日昇丸・米国原子力潜水艦ジョージワシントン衝突事件 (1981 年東シナ海)
  - ・潜水艦なだしお・第一富士丸衝突事件 (1988 年東京湾)
  - ・練習船海王丸乗り揚げ事件 (2004 年伏木富山湾)
- 山崎豊子の未完の絶筆「約束の海」は、なだしお事件をモデルとして書かれた。小説には田川さんも登場している。

藤沢さんは、長年の間、損保会社の海損部門の実務に携われ、海上保険の第一人者として業界をリードされていた。現在も、マリンコンサルタントとして、田川法律事務所で活躍されている。「海上保険の ABC」「海上リスクマネジメント」などを著されている。

10 年ほど前に、日本 300 名山を踏破された。そのうちのいくつかには、わたしも同行させていただいた。

船舶の衝突事件の実務にかかわっていた一人として、本書を推薦する。



成山堂書店 定価 2,600 円 (税別)